

令和2年度 マリア学院高槻マリアインマクラダ幼稚園 自己評価

1.本園の教育目標

- ・神様とまわりの人たちが愛されていることに気付く。(宗教教育)
- ・幼稚園生活での体験を通して、自分らしく生きる力を養い、自分自身を好きになる。(モンテッソーリ教育)
- ・神様とまわりの人たちが愛する子どもになっていく。(平和教育)

2.本年度年間目標

- ・意識しながら体を動かし、よく考え工夫しながら行動し、自分の力を発揮する。
- ・友だちとの繋がりの中で、共に豊かにのびのびと育ち合う。
- ・神様と人、また自分を愛し、愛されることで、互いを認め合い、祈り合いながら過ごす。

3.本年度重点的に取り組む目標や計画

- ・教師はモンテッソーリ教育への学びを深め、自身を整えながら、信頼できる同伴者として、ひとりひとりの生き方に添っていく。
- ・ひとりひとりの成長を見守り、日々の活動を通して、その子どもに必要な援助の仕方を見出す。
- ・防災、防犯対策へ再なる意識の向上に努める。
- ・感染症対策を徹底して行ない、安心して過ごせる環境を整えながら、対策への意識を高めていく。

4.評価項目の達成および取り組み状況

教育目標	<ul style="list-style-type: none">・愛されている喜びを感じ、自分自身や他者を大切にすることで、平和の心が育つよう、祈りとともに過ごした。・モンテッソーリ教育を通して、自分の力を使う喜びを感じながら、自立へ向かう援助ができるように心を尽くした。
指導の重点	<ul style="list-style-type: none">・子ども一人一人の成長を職員全体で見守り、共通理解を深め、必要な援助が的確にできるように努めた。・子どもの歩みに寄り添い、同伴できるよう、教師自身が日々心を整える努力をする。
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none">・特別支援が必要な子どもの状態を把握し、スクールカウンセラー、又、関係機関との連携をとりながら指導にあたった。
教育環境整備	<ul style="list-style-type: none">・子どもの自立を援助し、それぞれの育ちに必要環境作りに心を尽くすとともに、教師自身も環境の一部として心を整えるよう努める。
保健管理	<ul style="list-style-type: none">・子どもの健康状態を職員間で共通に把握できるよう、健康状態の記録や、保健対応記録などを活用し、連絡、報告、経過打診を密に行った。・園医の指示をおおぎながら、子どもたちの状態にあった対応や情報を提案している。

安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の点検を定期的に行っている。また、改善点や計画についてよく検討し、より安全な施設設備を目指す。 ・防災、防犯について、子どもたちへの伝達、防災訓練を定期的を実施した。 ・感染症対策を徹底して行ない、変化する日常生活に対応していけるよう、環境の整備に努める。
経営組織	<ul style="list-style-type: none"> ・財務面においては堅実な運営方法を取り、組織性において、教職員の個性を尊重しつつ、互いの成長を目指している。
研究研修	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に研修会に参加し、研修の報告をもとに分ち合い、それぞれの課題を意識して、保育に活かせるように共に学び合っている。 ・職員自身も神様から愛されていることを感じ、共に歩める喜びを分かち合っている。
学校間交流	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校への接続が円滑に行われるよう、情報提供の充実を図る。 ・小学校との連携を図るため、小学生の集いを通して卒園後の子どもの様子を見る機会を持つ。
家庭地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・園に関わる地域の方々の方々の働きを知り、子どもたちが感謝を持ってすごせるよう分かち合っている。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・未就園児クラス(こどもの家、トゥインクルスター)、おやこ集いの広場(puka puka mama等)の充実をはかり、子育ての相談や情報の共有など、保護者間の交流の場作りに力を入れている。 ・預かり保育を通して、保護者の就労、又、育児の手助けにより、親子ともに安心した生活が送れるよう協力を努める。 ・臨床心理士による子育ての相談の場を設け、育児への提案、提言、必要な援助を行っている。

5. 今後取り組むべき課題

教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活全体をよく観察し、成長の歩みや一人一人の育ちを客観的、総合的に見守る。 ・教師一人一人が客観性を持って自分自身と向き合い、互いに向上し合えるよう、園内研修、分かち合いへの取り組みを大切にする。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した子育て支援の環境となるよう努力していく。
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止のため、施設設備の更なる見直し、点検をする。 ・子どもが自然災害などに対する正しい知識を持ち、災害時の行動の仕方がわかるよう教師が意識して伝えていく。 ・感染症に対する更なる対策を講じ、普段の生活の中での習慣づけを徹底していく。

6. 学校関係者の評価

保育内容評価について学校関係者評価委員 9名の意見を集約

- ・教育理念を基に、教育、及び、保護者、子育て支援への取り組みが忠実である。
- ・一人一人に最善を尽くした丁寧な関わりがあり、自立へと向かう子どもの成長に大きな役割を果たしている。
- ・コロナ禍で行動が制限される中ではあるが、様々な行事において心身ともに成長する過程を顧み、時代の流れに沿った行事を実施したことに一定の評価を得た。
また、普段の保育や行事の様子を動画配信することで、具体的な保育内容を知ることができ、安心して登園させることができたという意見を頂いた。
- ・コロナ禍の中で、未来に目を向けた時、子どもの成長に不安を感じている保護者がいるが、普段の生活の中に子どもが主体的に取り組む姿があり、また人を思いやる心の教育（モンテッソーリ教育、宗教教育）があることで、多くの賛同を得ている。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。